

【腎・尿路上皮・膀胱・精巣・前立腺・陰茎がんレジメン】

レジメン名	コメント	催吐リスク	投与期間	コース期間	抗がん剤
1 陰茎-泌015 ; FP(5FU800+CDDP80)療法		高度催吐性リスク	4	28	シスプラチン点滴静注:80mg/m ² Day1 フルオロウラシル注:800mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4
2 陰茎-泌016:TIP療法		高度催吐性リスク	4	21	パクリタール注:175mg/m ² Day1 イホマイド注 :1200mg/m ² Day2 Day3 Day4 シスプラチン点滴静注:25mg/m ² Day2 Day3 Day4
3 腎-泌004;テムロリス (トリーチ) 療法		最小度催吐性リスク	1	7	トリーセル点滴静注液:25mg Day1
4 腎-泌012;ニボルマブ療法		最小度催吐性リスク	1	14	オプジーブ 点滴静注:240mg Day1
5 精巣-泌007;BEP療法	※BLMは最小度催吐性リスク。 ★FN High Risk	高度催吐性リスク	16	21	シスプラチン点滴静注:20mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 エトプシド 点滴静注液 :100mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 ブレオ注射用:30mg Day2 Day9 Day16
6 精巣-泌008;VIP療法	★FN High Risk	高度催吐性リスク	5	21	エトプシド 点滴静注液:75mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 シスプラチン点滴静注:20mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 イホマイド注 1g/V:1200mg/m ² Day1 Day2 Day3 Day4 Day5
7 精巣-泌009;CPT-11(200mg/m ²)+NDP療法		中等度催吐性リスク	1	28	アクトラ静注用:100mg/m ² Day1 イリノテカン点滴静注液:200mg/m ² Day1
8 精巣-泌010;CPT-11(300mg/m ²)+NDP療法	★初回、Grade3以上の有害事象を認めなかった場合に使用を考慮。	中等度催吐性リスク	1	28	アクトラ静注用:100mg/m ² Day1 イリノテカン点滴静注液:300mg/m ² Day1
9 前立-泌001;DTX(60mg/m ²)療法		軽度催吐性リスク	1	21	ドセタキセル点滴静注液:60mg/m ² Day1 ブレドニン錠10mg ※連日投与
10 前立-泌005;CBZ(20mg/m ²)+PSL療法		軽度催吐性リスク	1	28	ジェム対点滴静注:20mg/m ² Day1 ブレドニン錠10mg ※連日投与 ジーラスタ皮下注3.6mg Day3
11 前立-泌011;CBDCA (AUC5) +PTX+EP療法		中等度催吐性リスク	1	28	カルボプラチン点滴静注液:AUC= 5 Day1 パクリタール注:175mg/m ² Day1 エストラサイトカプセル156.7mg 4Cap 2×朝夕食後 ※連日投与
12 尿路上皮-泌013;GN療法	中等度催吐性リスク(アロキシン使用) ★対象疾患 ; 腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、腎盂扁平上皮癌	中等度催吐性リスク	8	21	アクトラ静注用:80mg/m ² Day1 ゲムシタビン点滴静注液:1000mg/m ² Day1 Day8
13 尿路上皮-泌014;ペムプロリズマブ療法		最小度催吐性リスク	1	21	キートルダ 点滴静注:200mg Day1
14 膀胱-泌002;splitGC(GEM + CDDP)療法_		高度催吐性リスク	15	28	ゲムシタビン点滴静注液:1000mg/m ² Day1 Day8 Day15 シスプラチン点滴静注:35mg/m ² Day2 Day3
15 膀胱-泌003;GP(GEM + PTX)療法_		軽度催吐性リスク	8	21	ゲムシタビン点滴静注液:1000mg/m ² Day1 Day8 パクリタール注:175mg/m ² Day1
16 膀胱-泌006 ; GCarbo(GEM + CBDCA(AUC4))療法_	※腎機能障害のある尿路上皮癌	中等度催吐性リスク	8	21	ゲムシタビン点滴静注液:1000mg/m ² Day1 Day8 カルボプラチン点滴静注液:AUC=4 Day1
17 前立-泌017;CBZ(25mg/m ²)+PSL療法		軽度催吐性リスク	1	21	ジェム対点滴静注:25mg/m ² Day1 ブレドニン錠10mg ※連日投与 ジーラスタ皮下注3.6mg Day3
18 尿路上皮-泌018;ペムプロリズマブ(6週間間隔)療法		最小度催吐性リスク	1	42	キートルダ 点滴静注:400mg Day1
19 腎-泌019;ニボルマブ+イピリムマブ療法	※最大4コースまで。以降ニボルマブ単剤維持療法継続。	最小度催吐性リスク	1	21	オプジーブ 点滴静注:240mg Day1 ヤーボイ点滴静注液:1mg/kg Day1

20	前立(小細胞)-泌020;CBDCA(AUC5)+VP-16療法		中等度催吐性リスク	3	28	イトリッド点滴静注:80mg/㎡ Day1 Day2 Day3 カルボプラチン点滴静注:AUC=5 Day1
21	膀胱-泌021;THP膀胱内注入療法		最小度催吐性リスク	1	7	ビノルビン注射用:30mg Day1
22	膀胱(小細胞)-泌022;CBDCA(AUC5)+VP-16療法		中等度催吐性リスク	3	21	イトリッド点滴静注:80mg/㎡ Day1 Day2 Day3 カルボプラチン点滴静注:AUC=5 Day1
23	腎-泌023;ベムプロリズマブ+アキシチニブ療法		最小度催吐性リスク	1	21	キトルダ点滴静注:200mg Day1 インライタ錠 1日2回朝夕食後(連日内服)
24	前立(小細胞)-泌024;AMR療法	※注射でDEX3日間行くので、 経口DEXは省略。	中等度催吐性リスク	3	28	カルセド注射:40mg/㎡ Day1 Day2 Day3
25	尿路上皮-泌025;エンホルツマブ/ペドチン療法		軽度催吐性リスク	15	28	パドセブ点滴静注:1.25mg/kg Day1 Day8 Day15
26	尿路上皮-泌026;アベルマブ療法	※infusion reaction対策(レス タミンコーワ10mg5T、アセト アミノフェン600mg内服あ り)	最小度催吐性リスク	1	14	パベンチオ点滴静注:10mg/kg Day1
27	前立-泌027;DTX+ダロルタミド療法	DTXは6コースまで併用	軽催吐性リスク	1	21	ドセタキセル点滴静注:75mg/㎡ Day1 ニューベクオ錠300 1回2錠 1日2回(連日内服)
28	尿路上皮-泌028;【術後補助】ニボルマブ療法	12ヶ月まで	最小度催吐性リスク	1	14	オブジーボ点滴静注:240mg Day1
29	尿路上皮-泌029;【術後補助】ニボルマブ療法	12ヶ月まで	最小度催吐性リスク	1	28	オブジーボ点滴静注:480mg Day1
30	前立(小細胞)-泌030;NGT療法		軽度催吐性リスク	5	21	ハイカムチン注射用:1.0mg/㎡ Day1-5